

リハビリテーション従事者研修会アンケート(ベーシック)まとめ

1 参加者の概要 ((1), (2), (3)については参加者名簿より)

(1) 地域別参加者数

参加地域	申込み数	申込み施設数	第1回出席者	第2回出席者	第3回出席者	参加実人員
舞鶴市	28	22	21	24	22	29
綾部市	10	8	6	7	7	13
福知山市	14	13	11	13	12	15
合計	52	43	38	44	41	57

* 2回目は摂食・嚥下で歯科衛生士が3名オブザーバー参加

(2) 職種別参加者数(実人員)

参加地域	看護職	介護職	ケアマネジャー	相談員	参加実人員
舞鶴市	9	19	1		29
綾部市	2	6	5		13
福知山市	9	4	1	1	15
合計	20	29	7	1	57

* ケアマネジャーと他職がだぶる場合両方に計上

(3) 施設別参加状況

参加地域	入所	通所	訪問	居宅支援	行政	参加実人員
舞鶴市	6	14	8	1	3	29
綾部市	0	3	5	4	1	13
福知山市	5	4	3	1	2	15
合計	11	21	16	6	6	57

2 研修評価

* 回答者数は、受講者の合計人数とは異なる。

(1) 会場別評価

* 会場別に見て、住環境、摂食嚥下、3日目のプログラムには「職場での還元」・「活用にはより知識などが必要」・「即活用可能」等で差が見られたが、同様の内容で行っている介護機器の展示説明でもかなりの差が出ているところから、受け手サイドの差も大きい可能性がある。

研修項目	関節可動域訓練						住環境調整						介護機器(車イス)						インフォメーション1回目					
	東		西		合計		東		西		合計		東		西		合計		東		西		合計	
	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率
技術として、すぐに現場で活用できる内容だった。	7	47%	7	39%	14	42%	2	13.3%	2	12.5%	4	12.9%	4	26.7%	2	13.3%	6	23%	0	0%	3	21.4%	3	11%
個人では活用できそうだが、他者への伝達は難しい。	3	20%	2	11%	5	15%	2	13.3%	1	6.3%	3	9.7%	1	6.7%	1	6.7%	2	8%	1	9%	3	21.4%	4	15%
部分的には活用できるが、より知識・技術が必要	6	40%	7	39%	13	39%	7	46.7%	4	25.0%	11	35.5%	4	26.7%	0	0.0%	4	15%	3	27%	2	14.3%	5	19%
普段していることが、具体的な理論として押さえられた。	1	7%	0	0%	1	3%	4	26.7%	3	18.8%	7	22.6%	1	6.7%	0	0.0%	1	4%	2	18%	1	7.1%	3	11%
職場の他職員に伝達でき、職場全体での活用につなげられる	2	13%	2	11%	4	12%	2	13.3%	4	25.0%	6	19.4%	2	13.3%	0	0.0%	2	8%	2	18%	2	14.3%	4	15%
継続したリハビリを実施するための連携への意識が高まった	1	7%	0	0%	1	3%	2	13.3%	2	12.5%	4	12.9%	0	0.0%	0	0.0%	0	0%	4	36%	4	28.6%	8	30%
その他	0	0%	2	11%	2	6%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0%	0	0%	0	0.0%	0	0%
回答者数	15	100%	18	100%	33	100%	15	100.0%	16	100.0%	31	100.0%	11	73.3%	15	100.0%	26	100%	11	100%	14	#####	25	93%

研修項目	筋力増強訓練						摂食嚥下訓練						インフォメーション2回目					
	東		西		合計		東		西		合計		東		西		合計	
	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率
技術として、すぐに現場で活用できる内容だった。	12	52.2%	8	40.0%	20	47%	9	39%	10	55.6%	19	46%	0	0%	3	18.8%	3	11%
個人では活用できそうだが、他者への伝達は難しい。	0	0.0%	2	10.0%	2	5%	3	13%	0	0.0%	3	7%	1	9%	2	12.5%	3	11%
部分的には活用できるが、より知識・技術が必要	6	26.1%	7	35.0%	13	30%	4	17%	3	16.7%	7	17%	3	27%	4	25.0%	7	26%
普段していることが、具体的な理論として押さえられた。	5	21.7%	3	15.0%	8	19%	8	35%	3	16.7%	11	27%	2	18%	2	12.5%	4	15%
職場の他職員に伝達でき、職場全体での活用につなげられる	8	34.8%	6	30.0%	14	33%	10	43%	7	38.9%	17	41%	2	18%	3	18.8%	5	19%
継続したリハビリを実施するための連携への意識が高まった	5	21.7%	1	5.0%	6	14%	2	9%	1	5.6%	3	7%	4	36%	2	12.5%	6	22%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0%	1	4%	0	0.0%	1	2%	0	0%	2	12.5%	2	7%
回答者数	23	100.0%	20	#####	43	100%	23	100%	18	100.0%	41	100%	11	100%	16	100.0%	27	100%

研修項目 回答内容	福祉用具						トランスファーテクニック						介護機器展示					
	東		西		合計		東		西		合計		東		西		合計	
	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率
ア 技術として、すぐに現場で活用できる内容だった。	8	34.8%	4	22.2%	12	29%	18	78%	9	50.0%	27	66%	3	13%	4	22.2%	7	17%
イ 個人では活用できそうだが、他者への伝達は難しい。	0	0.0%	2	11.1%	2	5%	1	4%	1	5.6%	2	5%	2	9%	1	5.6%	3	7%
ウ 部分的には活用できるが、より知識・技術が必要	6	26.1%	6	33.3%	12	29%	4	17%	7	38.9%	11	27%	6	26%	14	77.8%	20	49%
エ 普段していることが、具体的な理論として押さえられた。	2	8.7%	2	11.1%	4	10%	5	22%	4	22.2%	9	22%	1	4%	0	0.0%	1	2%
オ 職場の他職員に伝達でき、職場全体での活用につなげられた。	3	13.0%	5	27.8%	8	20%	7	30%	3	16.7%	10	24%	4	17%	5	27.8%	9	22%
カ 継続したリハビリを実施するための連携への意識が高まった。	2	8.7%	0	0.0%	2	5%	1	4%	1	5.6%	2	5%	2	9%	0	0.0%	2	5%
キ その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0%	0	0%	1	5.6%	1	2%	2	9%	0	0.0%	2	5%
回答者数	23	100.0%	18	#####	41	100%	23	100%	18	100.0%	41	100%	23	100%	18	100.0%	41	100%

2 職種別

職種別に見ると看護職は3日目の項目をのぞけば、おおむね「即活用できる」が介護職より高く、「より知識・技術が必要」が低い値を示している。ただし、3日目のプログラムにおいては同様の傾向にあり、トランスファーはよりの職種においても身近であり、福祉用具の活用になると、基本技能として、不十分な状態であるせいではないかと考えられる。

研修項目 回答内容	関節可動域訓練						住環境調整						介護機器(車イス)						インフォメーション(1回)					
	看護職(保健師含)		介護職		他		看護職(保健師含)		介護職		他		看護職(保健師含)		介護職		他		看護職(保健師含)		介護職		他	
	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率
ア 技術として、すぐに現場で活用できる内容だった。	6	50%	6	30%	1	33%	2	16.7%	1	5.0%	1	3.2%	2	40.0%	3	20.0%	1	4%	1	10%	1	6.3%	1	13%
イ 個人では活用できそうだが、他者への伝達は難しい。	1	8%	3	15%	1	33%	1	8.3%	2	10.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	6.7%	0	0%	1	10%	3	18.8%	0	0%
ウ 部分的には活用できるが、より知識・技術が必要	3	25%	8	40%	2	67%	3	25.0%	7	35.0%	1	3.2%	2	40.0%	2	13.3%	0	0%	2	20%	3	18.8%	0	0%
エ 普段していることが、具体的な理論として押さえられた。	1	8%	0	0%	1	33%	1	8.3%	3	15.0%	2	6.5%	0	0.0%	0	0.0%	1	4%	1	10%	0	0.0%	2	25%
オ 職場の他職員に伝達でき、職場全体での活用につなげられた。	1	8%	4	20%	1	33%	3	25.0%	2	10.0%	1	3.2%	1	20.0%	1	6.7%	0	0%	3	30%	0	0.0%	0	0%
カ 継続したりハビリティを実施するための連携への意識が高まった。	0	0%	1	5%	0	0%	1	8.3%	1	5.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0%	1	10%	4	25.0%	1	13%
キ その他	0	0%	0	0%	0	0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0%	3	30%	0	0.0%	0	0%
回答者数	12	100%	20	100%	3	100%	12	100.0%	20	100.0%	3	9.7%	5	###	7	46.7%	1	4%	10	100%	11	68.8%	3	38%

研修項目 回答内容	筋力増強訓練						摂食嚥下訓練						インフォメーション(2回)					
	看護職(保健師含)		介護職		他		看護職(保健師含)		介護職		他		看護職(保健師含)		介護職		他	
	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率
ア 技術として、すぐに現場で活用できる内容だった。	10	55.6%	7	36.8%	3	43%	10	56%	5	29.4%	2	33%	1	6%	3	18.8%	1	13%
イ 個人では活用できそうだが、他者への伝達は難しい。	1	5.6%	1	5.3%	0	0%	0	0%	1	5.9%	0	0%	0	0%	0	0.0%	2	25%
ウ 部分的には活用できるが、より知識・技術が必要	4	22.2%	6	31.6%	3	43%	4	22%	5	29.4%	1	17%	2	13%	4	25.0%	2	25%
エ 普段していることが、具体的な理論として押さえられた。	4	22.2%	0	0.0%	4	57%	3	17%	2	11.8%	2	33%	4	25%	1	6.3%	1	13%
オ 職場の他職員に伝達でき、職場全体での活用につなげられた。	6	33.3%	5	26.3%	2	29%	7	39%	4	23.5%	2	33%	2	13%	2	12.5%	0	0%
カ 継続したりハビリティを実施するための連携への意識が高まった。	4	22.2%	1	5.3%	1	14%	2	11%	1	5.9%	0	0%	2	13%	2	12.5%	1	13%
キ その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0%	0	0%	0	0.0%	0	0%	3	19%	1	6.3%	0	0%
回答者数	18	100.0%	19	###	7	100%	18	100%	17	100.0%	6	100%	16	100%	16	100.0%	8	100%

研修項目 回答内容	福祉用具						トランスファーテクニック						介護機器展示(3回)					
	看護職(保健師含)		介護職		他		看護職(保健師含)		介護職		他		看護職(保健師含)		介護職		他	
	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率
ア 技術として、すぐに現場で活用できる内容だった。	3	21.4%	4	26.7%	5	63%	12	75%	11	73.3%	5	63%	3		1	7.1%	3	43%
イ 個人では活用できそうだが、他者への伝達は難しい。	1	7.1%	0	0.0%	1	13%	0	0%	0	0.0%	2	25%	2		0	0.0%	1	14%
ウ 部分的には活用できるが、より知識・技術が必要	6	42.9%	6	40.0%	0	0%	5	31%	5	33.3%	1	13%	2		7	50.0%	3	43%
エ 普段していることが、具体的な理論として押さえられた。	1	7.1%	2	13.3%	1	13%	5	31%	4	26.7%	1	13%	0		1	7.1%	0	0%
オ 職場の他職員に伝達でき、職場全体での活用につなげられた。	2	14.3%	5	33.3%	1	13%	6	38%	2	13.3%	2	25%	4		5	35.7%	0	0%
カ 継続したりハビリティを実施するための連携への意識が高まった。	2	14.3%	0	0.0%	0	0%	1	6%	1	6.7%	0	0%	2		0	0.0%	0	0%
キ その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0%	1	6%	0	0.0%	0	0%	2		0	0.0%	0	0%
回答者数	14	100.0%	15	###	8	100%	16	100%	15	100.0%	8	100%	14	100%	14	100.0%	7	100%

3 施設別

* その他には未記入も含む

施設の種別には、在宅で直接使える訪問系の事業所で、活用に関する意欲が高いことが例年どおりの特色である。また、トランスファーは施設系の事業所の方が活用への意識が高い傾向にあった。

研修項目 回答内容	関節可動域訓練						住環境調整						介護機器(車イス)						インフォメーション(1回)					
	施設系		訪問系		他		施設系		訪問系		他		施設系		訪問系		他		施設系		訪問系		他	
	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率
ア 技術として、すぐに現場で活用できる内容だった。	8	47%	6	46%	0	0%	1	7.7%	3	23.1%	0	0.0%	4	50.0%	2	18.2%	0	0%	0	0%	2	20.0%	0	0%
イ 個人では活用できそうだが、他者への伝達は難しい。	3	18%	2	15%	0	0%	3	23.1%	0	0.0%	0	0.0%	1	12.5%	4	36.4%	0	0%	0	0%	4	40.0%	0	0%
ウ 部分的には活用できるが、より知識・技術が必要	8	47%	4	31%	0	0%	4	30.8%	5	38.5%	2	66.7%	1	12.5%	1	9.1%	1	100%	3	20%	1	10.0%	0	0%
エ 普段していることが、具体的な理論として押さえられた。	0	0%	1	8%	1	50%	3	23.1%	3	23.1%	1	33.3%	0	0.0%	2	18.2%	0	0%	0	0%	2	20.0%	1	14%
オ 職場の他職員に伝達でき、職場全体での活用につながられた。	2	12%	4	31%	1	50%	2	15.4%	4	30.8%	0	0.0%	2	25.0%	2	18.2%	0	0%	0	0%	2	20.0%	1	14%
カ 継続したリハビリを実施するための連携への意識が高まった。	1	6%	0	0%	0	0%	1	7.7%	1	7.7%	0	0.0%	0	0.0%	1	9.1%	0	0%	2	13%	1	10.0%	1	14%
キ その他	0	0%	0	0%	0	0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0%	0	0%	0	0.0%	0	0%
回答者数	17	100%	13	100%	2	100%	13	100.0%	13	100.0%	3	100.0%	8	###	11	100.0%	1	100%	11	73%	11	###	3	43%

研修項目 回答内容	筋力増強訓練						摂食嚥下訓練						インフォメーション(2回)					
	施設系		訪問系		他		施設系		訪問系		他		施設系		訪問系		他	
	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率
ア 技術として、すぐに現場で活用できる内容だった。	7	41.2%	9	56.3%	2	33%	7	41%	5	41.7%	1	33%	3	20%	4	40.0%	1	14%
イ 個人では活用できそうだが、他者への伝達は難しい。	1	5.9%	1	6.3%	0	0%	1	6%	0	0.0%	1	33%	2	13%	1	10.0%	0	0%
ウ 部分的には活用できるが、より知識・技術が必要	6	35.3%	5	31.3%	2	33%	2	12%	4	33.3%	2	67%	3	20%	3	30.0%	3	43%
エ 普段していることが、具体的な理論として押さえられた。	2	11.8%	6	37.5%	0	0%	3	18%	4	33.3%	0	0%	1	7%	3	30.0%	0	0%
オ 職場の他職員に伝達でき、職場全体での活用につながられた。	7	41.2%	5	31.3%	2	33%	9	53%	3	25.0%	0	0%	5	33%	3	30.0%	0	0%
カ 継続したリハビリを実施するための連携への意識が高まった。	4	23.5%	2	12.5%	0	0%	2	12%	1	8.3%	0	0%	2	13%	1	10.0%	2	29%
キ その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0%	0	0%	0	0.0%	0	0%	1	7%	0	0.0%	1	14%
回答者数	17	100.0%	16	###	6	100%	17	100%	12	100.0%	3	100%	15	100%	10	100.0%	7	100%

研修項目 回答内容	トランスファー						福祉用具						介護機器					
	施設系		訪問系		他		施設系		訪問系		他		施設系		訪問系		他	
	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率
ア 技術として、すぐに現場で活用できる内容だった。	10	83.3%	16	72.7%	1	20%	3	25%	9	40.9%	0	0%	2	17%	4	18.2%	1	20%
イ 個人では活用できそうだが、他者への伝達は難しい。	0	0.0%	2	9.1%	0	0%	0	0%	1	4.5%	1	20%	1	8%	1	4.5%	1	20%
ウ 部分的には活用できるが、より知識・技術が必要	4	33.3%	3	13.6%	4	80%	2	17%	7	31.8%	3	60%	3	25%	7	31.8%	2	40%
エ 普段していることが、具体的な理論として押さえられた。	3	25.0%	4	18.2%	2	40%	3	25%	0	0.0%	1	20%	1	8%	4	18.2%	0	0%
オ 職場の他職員に伝達でき、職場全体での活用につながられた。	1	8.3%	7	31.8%	2	40%	3	25%	3	13.6%	2	40%	3	25%	2	9.1%	2	40%
カ 継続したリハビリを実施するための連携への意識が高まった。	1	8.3%	1	4.5%	0	0%	3	25%	2	9.1%	0	0%	0	0%	1	4.5%	0	0%
キ その他	1	8.3%	0	0.0%	0	0%	0	0%	0	0.0%	0	0%	1	8%	0	0.0%	0	0%
回答者数	12	100.0%	22	###	5	100%	12	100%	22	100.0%	5	100%	12	100%	22	100.0%	5	100%

4 経験年数別：多くの項目でより知識・技術が必要と答えたのが、3～5年めの層であった。项目的には大きな特色は無いが5年目以上になると、どの項目でも職場への還元を図れそうの項目が高くなる傾向にある。

研修項目	関節可動域訓練						住環境調整						介護機器(車イス)						インフォメーション(1回)					
	3年未満		3～5年		5年～		3年未満		3～5年		5年～		3年未満		3～5年		5年～		3年未満		3～5年		5年～	
	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率
ア 技術として、すぐに現場で活用できる内容だった。	3	60%	1	25%	3	50%	2	33.3%	0	0.0%	0	0.0%	3	60.0%	2	50.0%	1	33%	0	0%	0	0.0%	0	0%
イ 個人では活用できそうだが、他者への伝達は難しい。	1	20%	1	25%	1	17%	1	16.7%	0	0.0%	1	20.0%	1	20.0%	0	0.0%	0	0%	0	0%	1	25.0%	0	0%
ウ 部分的には活用できるが、より知識・技術が必要	1	20%	2	50%	3	50%	3	50.0%	2	50.0%	2	40.0%	1	20.0%	3	75.0%	1	33%	2	67%	1	25.0%	0	0%
エ 普段していることが、具体的な理論として押さえられた。	0	0%	1	25%	0	0%	1	16.7%	2	50.0%	1	20.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0%	1	33%	1	25.0%	0	0%
オ 職場の他職員に伝達でき、職場全体での活用につなげられた。	0	0%	0	0%	2	33%	0	0.0%	0	0.0%	2	40.0%	1	20.0%	0	0.0%	1	33%	0	0%	1	25.0%	1	33%
カ 継続したリハビリを実施するための連携への意識が高まった。	0	0%	0	0%	1	17%	0	0.0%	1	25.0%	1	20.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0%	1	33%	0	0.0%	3	###
キ その他	0	0%	0	0%	0	0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0%	0	0%	0	0.0%	0	0%
回答者数	5	100%	4	100%	6	100%	6	100.0%	4	100.0%	5	100.0%	5	###	4	100.0%	3	100%	3	100%	4	#####	3	###

研修項目	筋力増強訓練						摂食嚥下訓練						インフォメーション(2回)											
	3年未満		3～5年		5年～		3年未満		3～5年		5年～		3年未満		3～5年		5年～		3年未満		3～5年		5年～	
	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率
ア 技術として、すぐに現場で活用できる内容だった。	7	46.7%	4	44.4%	9	47%	7	47%	3	43%	7	44%	1	9%	2	50.0%	1	8%						
イ 個人では活用できそうだが、他者への伝達は難しい。	0	0.0%	0	0.0%	2	11%	1	7%	0	0%	0	0%	1	9%	0	0.0%	1	8%						
ウ 部分的には活用できるが、より知識・技術が必要	7	46.7%	2	22.2%	4	21%	5	33%	3	43%	3	19%	4	36%	1	25.0%	4	31%						
エ 普段していることが、具体的な理論として押さえられた。	3	20.0%	0	0.0%	5	26%	4	27%	0	0%	3	19%	1	9%	1	25.0%	2	15%						
オ 職場の他職員に伝達でき、職場全体での活用につなげられた。	4	26.7%	1	11.1%	9	47%	5	33%	1	14%	8	50%	3	27%	0	0.0%	2	15%						
カ 継続したリハビリを実施するための連携への意識が高まった。	3	20.0%	1	11.1%	2	11%	1	7%	1	14%	1	6%	1	9%	2	50.0%	2	15%						
キ その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	1	9%	1	25.0%	2	15%						
回答者数	15	100.0%	9	#####	19	100%	15	100%	7	100%	16	100%	11	100%	6	150.0%	13	100%						

研修項目	トランスファー						福祉用具						介護機器											
	3年未満		3～5年		5年～		3年未満		3～5年		5年～		3年未満		3～5年		5年～		3年未満		3～5年		5年～	
	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率
ア 技術として、すぐに現場で活用できる内容だった。	8	53%	4	57%	15	88%	2	13%	4	67%	6	40%	3	20%	1	17%	3	21%						
イ 個人では活用できそうだが、他者への伝達は難しい。	0	0%	2	29%	0	0%	2	13%	0	0%	0	0%	1	7%	2	33%	0	0%						
ウ 部分的には活用できるが、より知識・技術が必要	8	53%	0	0%	3	18%	4	27%	3	50%	5	33%	4	27%	3	50%	3	21%						
エ 普段していることが、具体的な理論として押さえられた。	3	20%	1	14%	5	29%	2	13%	0	0%	2	13%	0	0%	0	0%	1	7%						
オ 職場の他職員に伝達でき、職場全体での活用につなげられた。	4	27%	1	14%	5	29%	3	20%	1	17%	4	27%	2	13%	1	17%	6	43%						
カ 継続したリハビリを実施するための連携への意識が高まった。	0	0%	0	0%	2	12%	2	13%	0	0%	0	0%	2	13%	0	0%	0	0%						
キ その他	0	0%	0	0%	1	6%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	2	14%						
回答者数	15	100%	7	100%	17	100%	15	100%	6	100%	15	100%	15	100%	6	100%	14	100%						